

金屋町金属工芸工房かんかの12周年にあたり「天地を鑄る」関源司展を開催いたします。

氏は1939年に新潟県水原町（現 阿賀野市）に生まれ、東京藝術大学工芸科で鑄金を学び、程なく多くの公募展に於いて賞を受け、若くしてその偉才を世に知らしめる事となります。また、金沢美術工芸大学に職を得てからは、延べ80名近くの専攻学生を指導する教育者として、また制作の為に必要な意志と技術を間近で具現化する鑄金作家としての姿勢を直に感じ学ぶことのできる貴重な道標となりました。

鑄物の技法は多様ではありますが、初めて学ぶ者には真土型鑄造法などの原初的な素材で、修練が必要ではあるが方法や要素を理解のしやすい伝統的な技法から始める事になります。氏もまた指導の傍にその環境を活かしながら、独自の解釈のもとに伝統技法を用いて現代を表す手段とし、作品に昇華させました。鑄造作品の制作は、その工程が分業化と集約化された現代に於いては多岐に渉る素材や技法があり、これらを表現の為に選択して制作することはますます困難となり、一人の作家が物するのは稀有な事となります。

このたび、鑄物の街高岡市に金属工芸を志す人たちが集う「金屋町金属工芸工房かんか」でその足跡を開示できますことは、直接薫陶を受けた者のみならず、これから深く関わろうとする人たちにも、その作品を通して多くの啓示を与え続けてくれるものと信じます。

2022.SEP. 金屋町金属工芸工房 かんか 代表 棚間秀人

関 源 司

Seki Genji



1939 新潟県に生まれる

1963 東京芸術大学工芸学科卒業

1967 金沢美術工芸大学産業美術学科

工芸繊維デザイン専攻着任

1989 同教授

2005 金沢美術工芸大学退職

現在 金沢美術工芸大学名誉教授

【主な受賞】

第9回日本現代工芸美術展 大賞

石川県現代美術展 最高賞

全日本県展選抜展 文部大臣賞

第10回日本現代工芸美術展 記念賞

第3回明日をひらく日本の現代工芸美術展 大賞

(彫刻の森美術館)

【主な出品】

日本現代工芸美術展海外展 出品3回

日展 入選11回

石川県工芸作家選抜展 出品3回

日本金鳳造形作家展 出品6回

日本金鳳造形作家ドイツ展 出品3回

東京国立近代美術展「1960年代の工芸」委嘱出品

サントリ―美術館大賞展' 88 委嘱出品

【審査員】

石川県現代美術展 審査員4回

日本現代工芸美術展 審査員5回

【バリエーション】

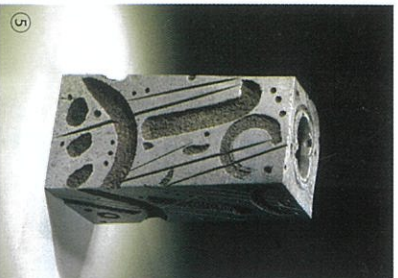
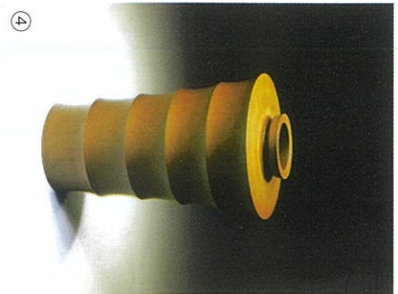
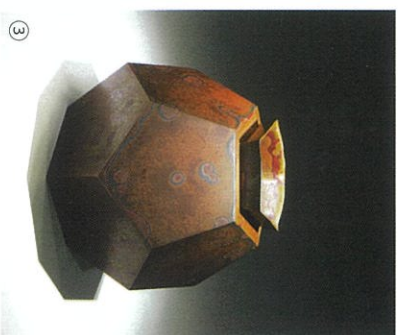
金沢市中村記念美術館

石川県立美術館

ハネゾルグ工芸博物館 (ドイツ)

サントリ―美術館

東京国立近代美術館



① 鑄銀花器 2003
④ 鑄銅花器 2004
⑦ 鑄銅花器 2000

② 鑄銅花器 1994
⑤ 鑄造器 雨 1990
⑧ 鑄銅花器 タヤケ 2001

③ 鑄銅面甕壺 1986
⑥ 白銅へ 2004
⑨ 鑄銅花器 1990